

試料・情報分譲申請用研究計画書(概要)					
審査委員会受付番号	2016-1017	利用するもの	情報:ゲノム情報(全ゲノム、SNPアレイ)、アンケート情報、検査値情報		
主たる研究機関	国際医療センター		分担研究機関	東北メディカル・メガバンク機構 Common Complex Traits International Consortium	
研究題目	血圧・高血圧のGWAS meta-analysisに関する国際コンソーシアム		研究期間	平成28年10月4日～平成30年3月31日	
実施責任者	加藤規弘	所属	国立国際医療研究センター	職位	センター長
研究目的と意義	血圧値に関するGWAS meta-analysisを国際レベルで実施し、effect sizeやstandard errorなどのsummary dataを統合することにより、高血圧の原因遺伝子を同定する。				
研究計画概要	<p>国際医療センター加藤部長を中心としたチームは、これまで、東アジア人(AGEN)、さらに3人種のコンソーシアム(iGEN-BP)を作り、血圧・高血圧のGWAS meta-analysisを進めてきた。その規模は順次拡大し、現在、さらに拡張した国際コンソーシアムが動いており(すでに解析作業を開始)、その検体総数(discovery stage)は50万人を超える状況にある。</p> <p>数あるcommon complex traits (common diseases)の国際コンソーシアムの中で、血圧・高血圧は、日本が一定のleadershipを取り得る分野であるため、all Japanの連携体制をという趣旨で東北メディカル・メガバンク事業に対する協力依頼がなされた。研究対象は、収縮期血圧、拡張期血圧、平均血圧、脈圧で、降圧治療がなされている場合一定の補正值を使用する。</p> <p>連続量分析を行う場合、それぞれの血圧値とSNPの関連を性・年齢調整の後線形回帰分析を行う。症例対照研究としては症例は65歳未満発症で収縮期血圧160mmHg以上または拡張期血圧100mmHg以上または降圧薬内服者。対照は50歳以上で収縮期血圧130mmHg未満かつ拡張期血圧85mmHg未満で降圧薬を服用していない者として性調整ロジスティック回帰分析を行う。解析したeffect sizeやstandard errorなどのsummary dataは国際医療センターにおいて統合解析される。</p>				
期待される成果	高血圧の原因遺伝子を大規模なメタアナリシスで同定する				
これまでの倫理審査等の経過および主な議論	すでに分譲を受けている「#2014-0001-2地域住民コホートを活用した、被災地での増加が懸念される疾患の関連要因の同定」で実施する高血圧の網羅的遺伝子解析結果のサマリーデータの提供を行う。				
倫理面、セキュリティ面への配慮	「#2014-0001-2地域住民コホートを活用した、被災地での増加が懸念される疾患の関連要因の同定」はすでに試料分譲委員会の承認を受けている。 サマリーデータのための提供のため、倫理・セキュリティ上の問題は無い。				
その他特記事項					
* 公開日	平成28年12月5日				
* 東北大学東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。	<p>三世代コホート参加者 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 三世代コホート室 022-718-5162 地域住民コホート参加者 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 地域住民コホート室 022-718-5161</p>				